

# ていねりょくちゅうしん 手稲緑地通信

手稲の緑地の  
取り組み紹介

第3号 平成20年7月発行

発行：手稲区土木部  
維持管理課公園緑化係  
編集：石塚計画デザイン事務所

札幌市手稲区には、住宅地の中の身近な場所に、緑あふれる公園や緑地があります。中でも、富丘西公園、星置緑地、稲穂ひだまり公園には、市内で貴重になった自生植物の群生を見ることができます。

手稲区土木部では、地域の皆さんにご協力いただき、これらの公園とその自生植物の魅力を知らせていただき、さらに、未来へ向けて守り育てていくための取り組みをすすめています。



## 富丘西公園でスズランの観察会を行いました

(6月8日(日))



富丘西公園では札幌市のシンボルフラワーである日本スズランが自生しています。6月8日に自然観察会を行い、約80名の方にご参加いただき、スズランと春の植物の観察を楽しみました。本公園での保全作業は5年目を迎え、スズランを圧迫してきた高茎草本が衰退するに連れ、スズランの花数が増え、密度も高くなってきています。(詳しくは2ページ)



手稲区富丘4・5条5丁目

## 星置緑地でミズバショウの観察会を行いました

(4月20日(日))



4月20日に自然観察会を行い、約60名の方と園内の木道からミズバショウのほか、様々な動植物を観察しました。

星置緑地では、観察会のほかに、ゴミ拾いやアシ刈り、ササ刈りの取り組みに、地域の方のご協力を頂いています。(詳しくは3ページ)



手稲区星置1条5丁目

## 稲穂ひだまり公園でカタクリの観察会を行いました (4月27日(日)、6月8日(日))



稲穂ひだまり公園では丘陵地の樹林の中にカタクリが群生しています。今年は4月27日、6月8日に自然観察会を開催し、それぞれカタクリの花や、カタクリのタネの様子を観察しました。6月の観察会では、タネを採取してまく予定でしたが、充分成熟していなかったため、改めて19日に行いました。(詳しくは3ページ)



手稲区稲穂4条1丁目

# 富丘西公園のスズラン保全の取り組み

5年目となる今年は、スズラン保全区域の植生の変化にあわせて、丁寧な作業を行っています。

地域のみなさまのご協力による保全作業により、スズランを圧迫していた植物が衰退し、スズランが元気を取り戻しています！

スズランの保全活動は、地域のみなさまのご協力を得ながら今年で5年目を迎えました。これまでの作業により、スズランを圧迫していたススキなどの高茎草本が衰退し、帰化植物も抜き取りによって少なくなってきました。また、スズランも見違えるように元気を取り戻しています。



足の踏み場に困るほどびっしりと生え、花を咲かせるスズランの様子。

今後の観察会では、「元気になったスズランを傷めないような一部の区域での作業」や、「保全区域の大掃除」を行います

しかし、スズランが元気になったため、保全区域の中は足の踏み場に困るような場所が増えてきました。

このため、今後の観察会では、ある程度スズランが復活した区域には手を付けず、まだ作業が必要な区域に限り保全作業を続けていきたいと思えます。ただし、秋に行っている保全区域の大掃除は、引き続き多くの方の力が必要になります。

これからも地域のみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



10月の「保全区域の大掃除」の様子。

## 春の保全作業講習会を行いました

6月4日(木)

6月4日(水)に、富丘西公園で、春の保全講習会を行いました。日常的に保全区域の作業を続けている富丘丸山町内会の皆さん14名が参加して、今年のスズランの開花の様子を観察し、保全区域の手入れについての講習を受けました。

### ■講師の笠康三郎さん(有)緑花計画)からのお話

- ・植生は年々変化するので、変化にあわせた作業が必要です。
- ・ススキは衰退してきていますが、カモガヤなど他の植物が増えています。特に増加が心配ないいくつかの帰化植物を、しっかり抜き取ってください。

### ＜抜き取りが必要な植物＞

- ・カモガヤ ・セイヨウノコギリソウ ・オオアワダチソウ
- ・赤クローバー ・メマツヨイグサ ・フランスギク など

### ■日常的な手入れについてお願い

観察会での大規模作業が減る分、これまで富丘丸山町内会の皆さんだけで行っていた、日常的な保全区域の作業量が増えてくるのが考えられます。

以下の日程で保全作業講習会を行いますので、興味のある方は、講習会を受講したうえで、作業にお手伝いいただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

### ＜秋の保全作業講習会＞

○10月8日(水) 10:30～ 山側のあずまや集合



講師の笠さんから、今年の作業のポイントについての説明を受けました。



保全区域を観察しながら、抜き取りが必要な植物について確認しました。

今年も元気なスズランの姿を見ることができました。来年の春の開花も楽しみですね。

# 星置緑地を守り育てる取り組み

多様な植生を守り育てながら、より魅力ある緑地にするための取り組みを行っています。

## 星置緑地周辺のゴミ拾いを行いました

4月10日(木)

4月10日(木)に星置緑地周辺のゴミ拾いを行いました。観察会の案内はがきと一緒に、ゴミ拾いのご案内をしたところ、近くにお住まいの方を中心に、9名の方が参加してくださいました。

緑地内はすでに色々な方たちによってゴミが拾われ、きれいになっていたのですが、今回は緑地周辺のゴミを拾いました。線路側の緑地にたくさん落ちていたゴミも拾われて、30分ほどできれいになりました。



星置緑地の周辺に落ちていたゴミを拾いました。

30分のゴミ拾いで、たくさんさんのゴミが出ました。



## アシの刈り取りを行いました

7月6日(日)

7月6日(日)に、星置緑地でアシ刈りを行いました。星置緑地の団地側の入口付近には、アシが勢力を強めており、他の植生に影響を与えるおそれがあります。アシ刈りは、根に養分を溜め込む前の夏に刈り取ると効果が高いそうです。また、アシを刈ることで緑地内の見通しも良くなるため防犯上も良いと考えられます。

うだるような暑い日でしたが、19名の「みどりのサポーター」の方が参加して下さり、植物の専門家の指導のもと、アシ以外に注意して残す植物や、アシと一緒に刈ってよい植物を確認し、力を合わせて丁寧に刈りました。



植生に気をつけながら、丁寧にアシ刈りをしました。

アシで隠れていた植物も見えやすくなり、緑地の木道も見えるようになりました。



今後も皆さんと力も合わせて、星置緑地をきれいにしていけるといいですね。

# 稲穂ひだまり公園のカタクリを守り育てる取り組み

地域の方にカタクリを知ってもらいながら、守り育てる取り組みを行っています。

## カタクリのタネまきを行いました

6月19日(木)

6月19日(木)に稲穂ひだまり公園でカタクリのタネまきをしました。本来ならば、6月8日(日)の観察会で行う予定でしたが、5月に低温の日が続いたため、タネの成熟が遅れて実施できず、改めて19日に種まきを行いました。

カタクリは、そのタネに「エライオソーム」というアリが好む物質をつけています。アリが餌としてタネを巣に運び、「エライオソーム」を食べた後に捨てるため、徐々にカタクリが広がります。

今回は、カタクリのタネが稔っている様子や、アリがタネを運ぶ様子を観察しました。そして、来年の春にたくさんカタクリの芽がでることを願いながら、タネをまきました。



カタクリのタネ(写真左)と、アリがタネを運ぶ様子(写真右)。



カタクリのタネは土に直接触れていると、定着しやすくなり、発芽しやすくなります。枯れ葉をよけて、丁寧にタネをまきました。

カタクリが花をつけるには、およそ8年程かかると言われていますが、その可憐な花を咲かせる姿を、のんびりと楽しみに待ちたいですね。

# 手稲の自然に関わる活動はほかにもたくさんあります！

手稲区で行われている、自然や緑地に関する取り組みをご紹介します。

## 「手稲自然フォーラム～手稲の自然 知ろう、守ろう、遊んじゃおう」

手稲の自然や自然と関わる取り組みについて、もっと理解を深め、輪を広げていこう！

「手稲自然フォーラム」は、手稲の自然と関わる活動を知り、共有することで、残された自然を守り育てることや、自然の中で遊ぶ輪を広げていきたいとの思いから、「手稲さと川探検隊」が企画しました。第1回目となる今回は、4つの事例報告と、意見交換を行いました。

「手稲自然フォーラム」  
日時：平成20年6月7日  
場所：手稲区民センター  
参加者：約20名  
主催：手稲さと川探検隊  
協力：手稲区地域振興課



事例報告の様子

### 事例1) 手稲の公園に残る自然を地域で守り育てる

報告：(株)石塚計画デザイン事務所  
富丘西公園、星置緑地、稲穂ひだまり公園において、行政と地域が連携して貴重な自生植物を保全している取り組みについて紹介。

### 事例2) 手稲の川の環境と生きもの

報告：北海道工業大学環境デザイン学科 柳井研究室  
星置川の環境と魚類等の生物について、調査結果をもとに報告。研究室では、「生物多様性演習」の一環として、星置川の上流から下流の数カ所で生息する生物を調査。各地点で生息する生物の数や種類に違いが見られたことから、星置川の環境の特徴について分析し、その結果を紹介。

### 事例3) 手稲山での「森の幼稚園」活動

報告：NPO法人Envision  
手稲山のパラダイスヒュッテ付近で行っている「森の幼稚園」の活動紹介。遊びの天才である子どもたちに、ちょっとしたきっかけを与えて、自然を感じ、楽しんで体験していく機会を提供。丸太渡りや川歩き、森の中の読み聞かせ、冬のそり遊びなどの取り組みを、子ども達のイキイキとした表情とともに紹介。

### 事例4) 手稲の川・森の生きもの、探して遊ぶ（地域の親子との、川や森での生きもの調べ活動の紹介）

報告：手稲さと川探検隊  
手稲山裾の森での生きもの観察とタネ拾い・タネ播きの取り組みや、中の川・星置川での生きもの調査などの活動を紹介。（詳しい取り組み内容については、昨年12月発行の「手稲緑地通信」第2号の中でも紹介しています）

事例紹介後は、手稲山の活用についてや、河川と生物の関わりについて、また、取り組みの連携や情報発信方法について等、様々な意見が交わされました。

手稲の自然を知り、関わり、活用する取り組みの輪が、今後も広がっていきそうです。

## 今年度の取り組み予定

今年も貴重な植物を守り育てる取り組みを行いますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 富丘西公園の取り組み

7月27日（日）10時～ ◆ 第16回自然観察会 ◆ 夏の植物観察

10月26日（日）10時～ ◆ 大掃除とお疲れさま会 ◆ 保全区域の大掃除

### 星置緑地の取り組み

注) 第3回みどりの講習会の日程が変更になりました

9月4日（木）10時～ ◆ 第3回みどりの講習会 ◆ アシ刈り作業その2

10月19日（日）10時～ ◆ 第11回自然観察会 ◆ ササ刈り、意見交換会

### 稲穂ひだまり公園の取り組み

10月26日（日）13時30分～ ◆ 秋のササ刈り作業 ◆ ササ刈り作業

連絡先：手稲区土木センター公園緑化係（電話：011-681-4011）